

いざ 全国の舞台へ!

1,500m **3,000m** **インターハイ出場**
 シェイラ ジュディ
 8月4日(日)~9日(金) 於: 沖縄市

島根県高校陸上競技 1,500m 新記録
西日本ジュニア 3,000m 大会新

第44回 益田陸上競技大会

一般高校女子800m

- 1位 水津 陽(横田)
- 3位 石田 紗愛(益田東)



1年 水津 陽

一般高校女子1,500m・3,000m

- 1位 ジュディ
- 2位 シェイラ

一般高校女子400m

- 3位 豊田 陽菜(中西)



シェイラ



ジュディ

中国大会

- 陸上競技 1,500m
- 2位 シェイラ
- 陸上競技 3,000m
- 5位 ジュディ

陸上競技 駅伝部

第53回 織田幹雄記念国際陸上競技大会
 西日本ジュニア 女子3000m

- 1位 ジュディ・ジェブングテッチ 9'21"26 **大会新**
- 2位 シェイラ・チエロティチ 9'22"20

島根県高等学校陸上競技大会や中国大会の新記録を更新中のジュディとシェイラは、昨年の5月に赤道直下のケニア・ナイロビにあるランニングスクールからやってきた。慣れない異国の地では、言葉も環境も違う。昨年末には母国に帰り、2月には元気に本校へ戻ってきた。片言だった日本語も「アスモ ガンバル。ウン チンシテ タベル。」と言って電子レンジを使うのも愛らしい。かわいいうダンスを披露したり、お国の歌をスワヒリ語で歌ってはしゃいでいる。シャイながらも実に社交的で人懐こい民族性がうかがえる。ますます活躍している留学生に負けじとばかりに、陸上競技部員はもちろん、本校生徒の志気も一緒に高揚しつつある。今年のインターハイは九州で、陸上競技は沖縄県。全国駅伝は京の都。中国大会を突破して、全国の舞台で羽ばたくその時を待って、練習に余念がない。沖縄はどんな香りの風が吹き、都大路は何色に染まるのだろうか。陸上競技チーム全体を、今以上に引っ張り上げてくれる2人の白い歯が、とりわけ眩しく映り、キュートな笑顔に癒される毎日である。2人が次に上がる表彰台は、全国の舞台となる沖縄。本校の歴史が更新なるか否か。「請う、思い切り駆けて、栄光を持って帰らんことを。」

島根県高等学校総合体育大会

陸上競技 1,500m **大会新** 陸上競技 3,000m

- 1位 シェイラ 4'26"29
- 1位 ジュディ 9'44"65

島根県陸上競技選手権大会

女子 1,500m・女子 5,000m

- 1位 ジュディ
- 2位 シェイラ

益田東高等学校 生徒募集部 NO. 29 R元. 7. 1発行 ()は出身中学校名 敬称略

益田東高等学校 生徒募集部 NO. 29 R元. 7. 1発行 ()は出身中学校名 敬称略



島根県高等学校総合体育大会

★柔道 個人の部 アベックで

準優勝

★ボクシング

準優勝

国体予選優勝を目指して、さらに挑戦中。



3年 小田 湧斗



1年 上林 想



3年 勝部 亮太 (高津)



吹奏楽部

「全日本吹奏楽コンクール」に続き、近年では「もう一つの全国大会」とも呼ばれる「日本管楽合奏コンテスト」通称「カンガク」の大会に本校吹奏楽部は、2008年度(第14回)に初出場し、昨年度(第15回)は4年ぶり8回目の出場を果たし、副賞として「ヤマハ賞」を受賞合奏トレーニングに使われる、「ハーモニードレックター」という機材が贈呈された。年々エントリー数が増え、録音審査方式の予選審査会には数百団体の応募があるとも言われている。その中で各部門30団体ほどが全国大会(本選)出場団体として選ばれ、とても狭き門である。本校の明るく爽やかなサウンドが好感度の高いものとして評価されている。また、恒例となった「定期演奏会」

今年には音楽系大学、大学院を修了した卒業生をゲストとして迎える予定(フルート・栗山稜子さん、サクソフォン・桑原明里さん)。3部構成の演奏会だが、特に3部では現役部員に加え、卒業生や楽器指導講師などにも加わっていただき、50名を超える大編成でお届けする予定である。例年、本校の演奏会は老若男女を問わず幅広い年齢層にご来場いただいている。今年も内容を盛りだくさんに企画。9月22日(日)13時30分開演予定。場所はグラントワ大ホール。一般前売500(当日700)。高校生以下は無料。車いす席、親子室を準備。前売券の発売開始は8月22日より、「グラントワ」(オリエント)「サウンドパレット」(本校事務室)「みずほ楽器」にて取り扱い予定。

第19回 定期演奏会

2019年 9/22(日) 13:30~

島根県芸術文化センター「グラントワ」大ホール

個別相談会

- ★6月22日 ★7月6日
- ★10月19・26日
- ★11月16・30日
- ★12月7・14日

【申し込み連絡先】
 0856-23-3435
 生徒募集部 大島・登米まで

※いずれも土曜日の午前中

第43回 全国高等学校総合文化祭 2019 さが総文

第65回 文部科学大臣旗全国高等学校弁論大会

7・28(日)29(月) 於: 多久市 中央公民館

6年連続 13回目出場



2年 中上 千夏 (浜田第一)

弁論

「恒心の道」をまっすぐ 剣道部は稽古後に、主将が「黙想〜っ!」と5秒間ほど声を張り上げる。その響きは道場の静寂の中を突き刺していく。中の弁論も、この「黙想」の5秒間で始まる。弱くて甘い心の隙に忍び込んでくる魔と闘いつつも、生きるためのヒントを見つけていく。「今」を真剣に向き合い、「恒心の道」をまっすぐに進んでいきたいと、小さな体の女剣士中上が佐賀の地で主張する。

「恒心の道」をまっすぐ